

## <たましいへの励まし>

詩篇42：1～5

メシヤの誕生について

闇の中を歩んでいた民は、大きな光を見た、死の影の地に住んでいた者達の上に光が照った。

イザヤ9：1

イエス様がお生まれになった時代、ローマ帝国の支配下において人々の生活は苦しく、呻くような日々。人々は渴望していた。メシヤの誕生は一筋の光となって闇を照らした。

光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。ヨハネ1：5

闇を打ち破る光は希望や力を与えた。しかし皆が好んで光の方へ来るとは限らない。光に照らされ、明るみにされる事を嫌って暗闇に身を隠す者もいる。闇にいる方が楽で、そこが自分の生きる場所となっている。

### 1、渇きは \_\_\_\_\_ を感じる心に生じる

「渇き」

私たちの思いや行動をうながす最も深いところにある衝動。  
生きていくために、必要ものが欠乏するときに感じるもの。

### 2、 \_\_\_\_\_ から離れているとき渇きを覚える

罪 → 的外れ

神という的から外れている、離れている時、人の心の内には起こることは？

私のたましいは、神を、生ける神を求めて渇いています。いつ、私は行って、神の御前に出ましようか。

【2節】

『わたしは渇く』 ヨハネ19：28

究極の渇きを訴えられたのは十字架上のイエス様。天の父なる神を、アバ父（お父ちゃん）と呼んで祈り、父なる神といつも一つだった。しかし十字架上でこの関係が裂かれた。

### 3、                    と共に渇きもある

荒地のような状態から立ち上がることができた時、私たちはひと回り強くなって成長する。

わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。私の前で思い乱れているのか。  
神を待ち望め。私はなおも神をほめたたえる。御顔の救いを。【5 節】

マザーテレサ

『 Mother Teresa Come Be My Light 』

邦訳 「来て、わたしの光になりなさい」

